

第7節. 事業計画

第1項. 概算事業費の算出

基本計画案内容を基に、公園整備全体における概算事業費を算出する。算出にあたっては、指定範囲内、指定範囲外別に算出する。

平成30年度 浦尻貝塚史跡公園整備事業 基本計画 概算事業費総括表						
名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
総括						
指定地内整備工事		1.0	式	—	183,821,000	
指定地外整備工事		1.0	式	—	180,422,000	
全体整備工事費 合計					364,243,000	

平成30年度 浦尻貝塚史跡公園整備事業 基本計画 概算工事費総括表 (指定地内)						
名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
土木造園工事						
土木造園工事費 計 諸経費込み		1.0	式		59,610,000	
建築工事						
建築施設工事費 計 諸経費込み		1.0	式		107,500,000	住居復元 貝層展示施設
【指定地内工事費合計】		1.0	式		167,110,000	
【消費税相当額】	10%	1.0	式	—	16,711,000	
全体工事費					183,821,000	

平成30年度 浦尻貝塚史跡公園整備事業 基本計画 概算工事費総括表 (指定地外)						
名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
土木造園工事						
土木造園工事費 計 諸経費込み		1.0	式		59,270,000	
建築工事						
建築施設工事費 計 諸経費込み		1.0	式		74,750,000	ガイダンス施設 トイレ棟
展示施設						
展示施設設置費 計		1.0	式		30,000,000	ガイダンス展示施設 備品等
【指定地外工事費合計】		1.0	式		164,020,000	
【消費税相当額】	10%	1.0	式	—	16,402,000	
全体工事費					180,422,000	

第2項. 整備スケジュールの基本的考え方

整備スケジュールにおいては整備予算の区分上、指定地内と指定地外に分けて進めることで考える。整備目標としては、平成32年度を整備工事着工とし、先行して整備するガイダンス施設建設が完了する平成34年度から暫定的な供用を開始し、体験学習や各種催しを主とした活用を開始する。

事業全体としては、平成37年度を供用開始目標年度として設定し、施設整備を進めることとし、平行して運営管理も順次進めるものとする。また、平成37年度以降は来訪者の規模や史跡内での活動内容、また市民の参画要請など運営管理の状況を見極めつつ、竪穴住居復元など市民参画で行っていくことに加え、必要に応じて設備、機能の充実を検討していく。

【暫定整備目標】（平成33年度着工→平成34年度暫定供用開始）

平成34年度暫定供用開始に向け、ガイダンス施設と公園の基盤整備を行う。

- ・台地上平場を主とした公園範囲の供用を目指す。
- ・展示公開する活用施設を中心に、保存を目的とした盛土造成を行う。
- ・将来的な公園機能を補完するインフラ設備の整備を行う。
- ・史跡の情報発信と運営拠点となるガイダンス施設を建設する。

【全体整備目標】（平成34年度→平成36年度全体整備完成）

平成37年度全体供用開始に向け史跡公園としての整備全般を行う。

- ・浦尻貝塚の最大の特徴である貝層に対し、貝層平面表示と貝層展示施設を整備する。
- ・展示物や展望広場などのポイントを辿るルート（観覧園路）の基盤を整備する。
- ・駐車場や案内板・解説板など来園者サービス供する施設を整備する。
- ・市民の文化活動に供する市民参画の場を整備する。
- ・現況の自然的要素を活用し、利用者にとって快適な景観・環境保全を図る
- ・散策や憩い・ウォーキングなど、市民の余暇活動に供する場を整備する。
- ・竪穴住居復元、平地式住居復元など展示物を整備する。

【将来整備目標】（平成37年度以降）

運営管理状況を見極め、必要に応じた設備、機能の充実を検討していく。

- ・市民参画による竪穴住居復元など、展示物の付加充実を図る。
- ・供用後の利用状況や市民活動などのニーズに合わせ、活用エリアの拡張などを検討する。

第3項. 整備年次別スケジュール（案）

整備スケジュールの基本的考え方を基に、年度ごとの整備項目及びスケジュールを示す。

表 7-1 整備年次別スケジュール表

整備事業年次	指定地内	指定地外
平成 33 年度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 台地上部の支障樹木の伐採 ▪ 盛土造成工（中期ムラ・晩期ムラ・中期貯蔵穴展示ゾーン） ▪ 給水設備工 ▪ 雨水排水設備工 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 敷地造成工 （ガイダンス施設用地、駐車場、市民交流広場） ▪ ガイダンス施設建設工 ▪ 給水設備工、雨水汚水排水設備工
平成 34 年度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 貝層展示施設建設工 ▪ 竪穴住居復元（1棟） ▪ 電気設備工 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ サービス施設整備工 （案内・解説版、誘導表示、ベンチ等） ▪ ガイダンス施設展示、備品等 ▪ 電気設備工
暫定供用開始（平成 34 年度）		
平成 35 年度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 園路広場工（園路舗装、階段類） ▪ 竪穴住居復元（1棟） ▪ 平地式住居復元 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 園路広場工（園路舗装、階段類） ▪ 植栽工
平成 36 年度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 展示施設工（道路状遺構、土器捨て場、貝層平面表示等） ▪ サービス施設整備工（案内解説板、誘導表示、ベンチ等） 	—
全体供用開始（平成 37 年度）		

表 7-2 年度別整備スケジュール (案)

(※: 金額は消費税込み)

区分		項目	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	事業費 計		
設計調査費	設計・測量	基本設計	15,245千円						15,245千円		
		実施設計		8,250千円	8,250千円	8,250千円	4,400千円		29,150千円		
		境界杭設置		18,200千円					18,200千円		
	発掘調査	発掘調査	6,065千円	2,500千円	2,500千円				11,065千円		
		土地取得費			2,200千円				2,200千円		
	その他経費			2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	10,000千円		
設計調査費・土地取得費他 小計			21,310千円	30,950千円	14,950千円	10,250千円	6,400千円	2,000千円	85,860千円		
整備工事	指定地内	土木造園工事	支障木伐採		2,200千円					2,200千円	
			盛土造成工			10,714千円				10,714千円	
			給水設備工			11,760千円				11,760千円	
			雨水排水設備工			2,656千円				2,656千円	
			電気設備工				1,420千円			1,420千円	
			園路広場整備工					10,928千円		10,928千円	
			サービス施設整備工						19,105千円	19,105千円	
			展示施設整備工						6,788千円	6,788千円	
			建築工事	貝層展示施設				77,000千円			77,000千円
				堅穴住居復元施設				13,750千円	13,750千円		27,500千円
	平地式住居復元施設						13,750千円		13,750千円		
	指定地内 合計				2,200千円	25,130千円	92,170千円	38,428千円	25,893千円	183,821千円	
	指定地外	土木造園工事	敷地造成工			4,500千円				4,500千円	
			植栽工					3,517千円		3,517千円	
			給水設備工			11,058千円				11,058千円	
			雨水排水設備工			1,322千円				1,322千円	
			汚水排水設備工			441千円				441千円	
			電気設備工				11,792千円			11,792千円	
			園路広場整備工					23,660千円		23,660千円	
			サービス施設整備工				8,908千円			8,908千円	
建築工事			ガイダンス施設			82,224千円				82,224千円	
			ガイダンス施設展示・備品				33,000千円			33,000千円	
指定地外 合計					99,545千円	53,700千円	27,177千円		180,422千円		
整備工事費 計				2,200千円	124,675千円	145,870千円	65,605千円	25,893千円	364,243千円		
事業費 合計			21,310千円	33,150千円	139,625千円	156,120千円	72,005千円	27,893千円	450,103千円		
園内維持管理		草刈・除草	草刈・除草 (委託管理)								
		苗木植栽 (縄文の森)	市民参加								
イベント・市民参加活動等											

第8節. 整理すべき課題

これまで検討した基本計画の内容から、今後の公園整備に向けて整理すべき課題を上げ、今後の計画遂行に役立てる。

● 史跡公園内での市民参画に関する課題

公園の運営や公園を核とした活動を活発にするためには、市民参画が不可欠であることから、公園内での活動に関する安全性を確保するとともに、利用者の興味を刺激し続けられるよう、誰でも気軽に参加できる機会の創出、市民参画を支える人材育成、新鮮味のある学習機会の提供、イベントなどのさまざまなツールを用いた情報発信など市民参画に関する計画を立案し、計画に基づく総合的な取り組みが必要である。

● 管理運営計画に関する課題

官民のパートナーシップに基づく効率的な管理運営を進めるため、関係者の意見を聞きながら管理運営を担う組織と人材の育成などが必要である。また、維持コストの削減を図るため、活動内容について検証を行い、PDCA サイクルのもと有効性、効率性を重視した運営が重要である。

● 周辺景観に対する課題

公園との一体的な景観を形成するためには、農地や森林の維持管理など周辺住民・事業者などの理解と協力が不可欠であることから、継続的に景観に対する意識の高揚を図っていくことが必要である。

また、周辺住民・事業者などとの合意に基づく、良好な景観を形成するための建築物や構造物などに関する高さや形態、色彩などの基準を明確にし、分かりやすい誘導が必要である。

● 浦尻貝塚までの交通アクセス手段に対する課題

広域幹線道路である国道6号などからのスムーズなアクセスを確保するために、安全性の高い道路整備とともに誘導サインの充実が求められる。

また、自家用車を利用できない方のアクセスを確保するために、関係機関との協議を行いながらバスなどの公共交通の充実に努める必要がある。

● 歴史・文化施設の広域ネットワーク化に係わる課題

本公園を拠点として、南相馬市の文化的魅力を発信するためには、他の文化財・文化施設とのネットワーク化を図る必要がある。このため、各文化財の保存活用計画等で連携を図ることを検討するとともに、文化財部局だけでなく、観光・都市計画・生涯学習などの他分野との連携を図り、効果的な活用を推進することが求められる。

● 緊急避難場所としての機能整備

計画地は、海岸地帯の高台にあたり、災害時の緊急避難場所としての機能を担うことも想定される。このために、今後の建物等の設計においては災害時に対応できるライフラインの整備等に努めるとともに、防災訓練等の実施などの事業を実施することも必要である。